

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

活動紹介

【ECO鼯肩】～「雑草より強い雑草」と活力ある農村をめざして～ 東員町



神田小学校田植



地域で楽しい芋掘り会 稲部小学校



水をきれいに「水質検査」



「螢の里」観察会

東員町を横断する員弁川左岸の農地約400ヘクタール(対象面積約330ヘクタール)を9自治会、農家組合、神田土地改良区及び稲部・神田小学校子供会で構成する広域活動組織です。

地区農業の6割超が営農組合等の担い手となっており、用排水路等の共同施設の維持・管理が困難な状況になりつつあるのが現状となっています。そこで、ECO鼯肩が基礎活動として水路・農道の泥上げ、草刈りや施設等の適正管理を地区構成員の協力を頂きながら活動を行っています。

農村環境保全活動として桜・梅堤、螢生息地の保全管理、水質管理を行い、子供会には農業への理解・広報活動として稲作づくりやサツマイモ栽培を行っています。

今、農業・農村で一番の課題は畦畔・農道の草刈り作業です。この課題を少しでも抑制する対策として、昨年より「雑草より強い雑草」ティフ・ブレアの植栽に取り組んでいます。洋芝センチピートグラスの改良種で繁殖力が強く、地上ほふく



地域総出の草刈り・清掃作業

茎により地表面を密に覆います。雑草管理の省力化、雑草抑制効果が優れています。3年目途に試験的導入するも1年

後からすばらしい雑草抑制の効果あり、今後の植栽活動の励みになっています。

ECO 最良は Ecology 最良、地域最良で活力ある農村づくりをめざします。



ティフ・ブレアの植栽(平成26年7月) ティフ・ブレアの植栽(平成27年7月)



用水路の改修工事を地域が力合わせて

活動紹介

【三和集落資源エコ隊】東員町

三和集落資源エコ隊は、平成18年度に東員町長深地内において、モデル地区として実験事業に取り組み、平成19年度からは三和小学校区(南大社地区・長深地区・中上地区)の三集落において、自治会、農家組合、土地改良区及び三和小学校等が一体となって「農地・水・環境保全向上」を図るための活動に取り組み始めました。

第1期事業として平成23年度までの5年間実施し、平成24年度からは「農地・水・保管理支払交付金」として第2期事業に入り、10年目を迎えた本年平成27年度からは「多面的機能支払交付金」制度として現在活動を継続しております。

主な活動としては、従来から行っている農用地、水路、農道の草刈り、水路の泥上げ、ゲート類等付帯施設のペンキ塗装による保守管理等、資源の適切な保管理活動、水路の補修、高上げ等施設の軽微な補修は業務委託ではなく、自主施工を実施して地域資源の質的向上を図っています。

農村環境保全活動については、生き物生態系では、土地改良区、めだかクラブ、自治会等が実施している「めだか祭り」に協賛し、自然と地域住民との交流に努めています。水質保全では「EM菌」の生成、散布による水質の浄化を図り、景観形成では「あじさい花壇」への植栽を年2回(6月・11月)行い、11月には地元三和小学校2年生の生徒が社会科の体験学習を兼ねてパンジー等の植栽を実施しています。最

近三和地域に大規模小売店舗(イオンモール東員)が開店し、近くに通学路があるため安全と防犯を兼ねて花壇を造成し、ピンクの芝桜を植栽した「芝桜花壇」が完成し地域の多くの人々に喜ばれております。今後もこのような環境美化活動を継続して取り組む計画を予定しています。

なお、平成27年度に三和地域の長深地区内に、第二名神高速道路「東員インター」が開通する予定になっており、大きく環境が変化することが予想されます。三和集落資源エコ隊は、現在の事業を今まで通りみんなで「三和の自然と農地」を守る取り組みを実施してまいります。



三和小学校2年生による植栽体験



水路の自主施工による補修



環境美化「芝桜花壇」

活動紹介 【榊原みずすまし会】～「榊原田んぼアート 2015」が大賑わい～ 津市

6月7日(日)に榊原みずすまし会主催で「榊原田んぼアート 2015」が開催されました。

4色の稲で田んぼに巨大な絵を描く「田んぼアート」の田植えイベントです。

今年度のテーマは風車で、榊原小学校の5・6年生から絵を募集し、デザイン、測量は久居農林高校の生徒の協力により、17アールの田んぼに見事な風車の絵柄ができました。

当日は、前葉市長も見え、榊原みずすまし会の中尾会長の挨拶の後、田植えが始まりました。応募しての参加者は津市内外から207人あり、特に都市部の参加者も多く、田植えを通じ都市と農村の交流が深められました。また、地域からも自治会など、大勢かたが参加していただき、観衆を含めると350人の参加で、にぎやかなイベントとなりました。



田んぼアートは、7月初旬には絵柄が鮮明になり始め、8月いっぱいまで楽しめます。

10月初旬には稲刈りをする予定ですので、みなさま、ぜひ、榊原の田んぼアートを見に来てください。

活動紹介 【水土里プロジェクトおばた】～お見事!!田んぼアート～ 伊勢市



浮かび上がった田んぼアート

「水土里プロジェクトおばた」は、全国の農村において、過疎化、高齢化、担い手不足による地域活力の低下を蘇らせるには、次世代の農業を担う子供たちへの「農業体験学習」を重視しています。

そこで、今回初めて田んぼアートを企画しました。

まず、県内で田んぼアートを実施している地区を視察し、技術指導、仕入れ先を紹介していただき、必要な苗を遠方より取り寄せたりして、1年半ほどかけて準備を進めました。

緑や白など葉の色が異なる8種類の苗を用意し、5月に地元の明野小学校5年生の子どもたちに広さ13アールの田んぼに苗を植えてもらいました。描いたのは小俣地区で栽培が盛んなイチゴのキャラクターと「2015 オバタ」の文字で子どもたちにデザインを考えてもらいました。

6月初旬から苗が色づき、絵柄がくっきりと浮かび上がってきています。田植えに参加し、見学に訪れた子どもたちは個々に「ちゃんと絵が出来てきてすごい。うまく植えられた。」と嬉しそうに満足げでした。

水土里プロジェクトおばたの会長は「上から見た時の遠近感を考えて図案を決めるのに苦心した。ぜひ、子どもたちに見てもらいたい。」と話していました。

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上)

「第8回みえのつどい」が開催されます。

日 時：平成27年12月12日(土)

場 所：三重県津市一身田上津部田1234
三重県総合文化センター